木更津工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	工業英語演習

科目基礎情報

科目番号	0076	科目区分	専門 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電子制御工学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	資料を配布する		
担当教員	泉 源		

到達目標

・工業英語の特徴を掴んで，データシートをはじめとする英語を読み取ることができる.
・理路整然とした文章を日本語で書ける.
・事実と意見を書き分けられる.
・頻出の文法や5文型を理解して，設計した回路の機能・性能説明に対して，適切な英文表現ができる.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	データシートから適切な情報を取り出して，機能説明ができる.	データシートから情報を読み取ることができる.	データシートを適切に読み取ることができない.
評価項目2	明瞭な日本語から英文表現ができる.	明瞭な日本語表記ができる.	明瞭な日本語を書くことができない.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	データシート(英語版)から適切な情報を読み取り，シミュレータを用いて回路設計と機能・性能評価をおこなう. 設計書と評価を明瞭な日本語で表現した後に，英文表現する.
授業の進め方・方法	座学を中心とするが，適宜確認問題や課題をおこなってもらう.
注意点	課題を遂行するに当たってシミュレータを使用することもあるので，各自自習してほしい.

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	講義内容と成績評価について理解できる.
		2週	記述順序	文の構造の基本を作るための，記述順序について理解できる.
		3週	1文の長さ	適切な1文の長さと文中の区切りを理解できる.
		4週	回路要素の説明1	回路要素について理解できる.
		5週	回路要素の説明2	回路要素について理解できる.
		6週	まとめ	
		7週	回路設計・評価1	シミュレーションをとおして設計・評価の方法を理解できる.
		8週	回路設計・評価2	シミュレーションをとおして設計・評価の方法を理解できる.
	4thQ	9週	まとめ	
		10週	マニュアルの書式	マニュアルの書式について理解できる.
		11週	英訳前の日本語の整理1	明瞭な日本語にするための方法を理解できる.
		12週	英訳前の日本語の整理2	明瞭な日本語にするための方法を理解できる.
		13週	修飾句の構成	例示，条件，理由の使い方について理解できる.
		14週	英訳しなくてもよい語句	英文が明瞭になる方法について理解できる.
		15週	マニュアル作成	
		16週	まとめ	

評価割合

	レポート	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	35	15	0	0	0	0	50
専門的能力	35	15	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0